

事業概要

認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク

〒028-0523 岩手県遠野市中央通り2-11
TEL: 0198-62-0601 FAX: 0198-62-0602
E-mail: tabisan@tono-yamasatonet.com
http://www.tonotv.com/members/yamasatone

更新: R7.5



理事・会員数 (2025年5月現在)

会長 菊池 新一
副会長 新田 勝見、小笠原晋
理事 荒川 栄悦、菊池 茂勝、糠森 隆、奥寺 晴夫、佐々木 恵康、
菊池 貴久子、浅沼 亜希子、田村 隆雅
監事 菊池 千恵子、佐々木 康行
会員数 59名(うち正会員37名)
事務局 13名(内1名 遠野市地域おこし協力隊)

沿革

2003年3月24日 設立総会
2003年6月16日 特定非営利活動法人登記完了
2003年7月13日 設立記念認証シンポジウム
2004年7月23日 遠野体感型宿泊自動車免許開始、第3種旅行業免許
2011年3月12日 東日本大震災後方支援活動開始
2016年2月24日 認定特定非営利活動法人への認定
2019年9月1日 遠野旅の産地直売所の立ち上げ
2023年4月1日 観光施設「とおの物語の館」指定管理業務受託
(最近の授賞歴等)
2015年度 農水省ディスカバリー農山漁村の宝「グローバル省受賞」
2021年度 東北農政局ディスカバリー農山漁村の宝アワード「優良事例」
2021年度 総務省 ふるさとづくり大賞「団体表彰」
2023年度 まちむら機構「オーライ!」にっぽん大賞
2023年度 第14回地域再生大賞「北海道・東北ブロック賞」
2024年度 農水省「農泊インバウンド受入促進重点地域」選定
2024年度 農水省「持続可能な農泊モデル」5選の内一地域に選定

事業目的

認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークは、遠野郷を主たるフィールドとしています。「資源を生かした都市住民との交流の深化と移住の促進」「伝統文化・芸能・技術・芸芸の伝承と進化と応用」「里地・里山における循環的な生活スタイルの再興と実践」を柱に具体的な事業を行うことにより、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。

クラスター組織 ～草の根型組織の水平連携～

遠野グリーン・ツーリズム研究会 1995
つきもうしファーマーズネット 1997
あやおり夢を咲かせる女性の会 1994
パハヤチニカ編集委員会 1994
遠野郷馬っこ王国ライディングクラブ 2001
NPO法人遠野エコネット 2003
農事組合法人宮守川上流生産組合 環境部会 1998
遠野民泊協会 2006
東北まちづくり実践塾 2007
里山クラブ やかまし村 2008
あくていぶまみ～ 2004
MG企画 2019

活動の概要



ワーキングホリデー

農家とともに労働し、食事をし、数日間滞在する金銭のやり取りのない農家の居候体験を通して、互いの楽しみや生きがいづくりを目的に実施し



人材育成のための研修企画

東北ツーリズム大学等、東北各地の「文化」「食」「交流」「旅」「地域」等の農の多面的な価値を広く共有し、それらを学びの場にするカリキュラムを毎



クラスター支援

里山・文化・暮らし・馬等の地域資源を活かした活動を展開する遠野市内の十数団体との協働での事業展開や各種サポート業務を実施しています。



遠野旅の産地直売所運営

「ありのままの暮らしを味わうこと」を旅の資源とし地域住民やGT実践者の他に多様な方々と連携し、食や暮らし、生業を強みにしたツーリズム



里地・里山保全・活用

住民自らが里地・里山の保全や整備、体験活動等を通して、循環的な生活スタイルの再興と実践を目的に実施しています。



農村民泊の推進

100軒程の遠野民泊協会会員と協働し、遠野の暮らしぶりを交流の資源とした民泊の推進と、農家民宿の立ち上げからサポートまでを実施しています。



遠野体感型自動車合宿免許

遠野ドライビングスクールや宿泊施設、各種体験施設と協働をして、合宿型自動車免許のカリキュラムの合間に農村民泊や馬や陶芸などの体験を提供するプログラムの実施をしています。



各種視察研修受け入れ

研修内容は、グリーンツーリズムや各種ビジネスを活かした地域づくり、復興応援としての後方支援の取り組み等が主です。また、旅行業第3種の旅行企画も実施しています。



とおの物語の館運営

令和5年度より、遠野駅近くの観光施設の管理・運営を行っています。『遠野物語』の著者柳田國男氏に関する展示や昔話を定期的に披露している施設です。



地域づくり・起業サポート

岩手県内外のグリーン・ツーリズムやコミュニティビジネス等に取り組む地域の方々と共に地域づくりや起業のサポートを実施しています。

最近の取り組み

【農泊インバウンド受入促進重点地域】全国 40 地域に選定！

日本各地でオーバーツーリズムが問題となっており、外国人観光客にとって遠野はまだ穴場。この度、農水省インバウンドの重点地域に選定されたことにより、台湾人向けのモニターツアーや英語での「まちぶら」ツアーを行いました。満足度が高いツアーとなりました。今年度はインバウンド向けの神楽体験も実施予定です。



【教育旅行受入れ状況】受入れ安定！

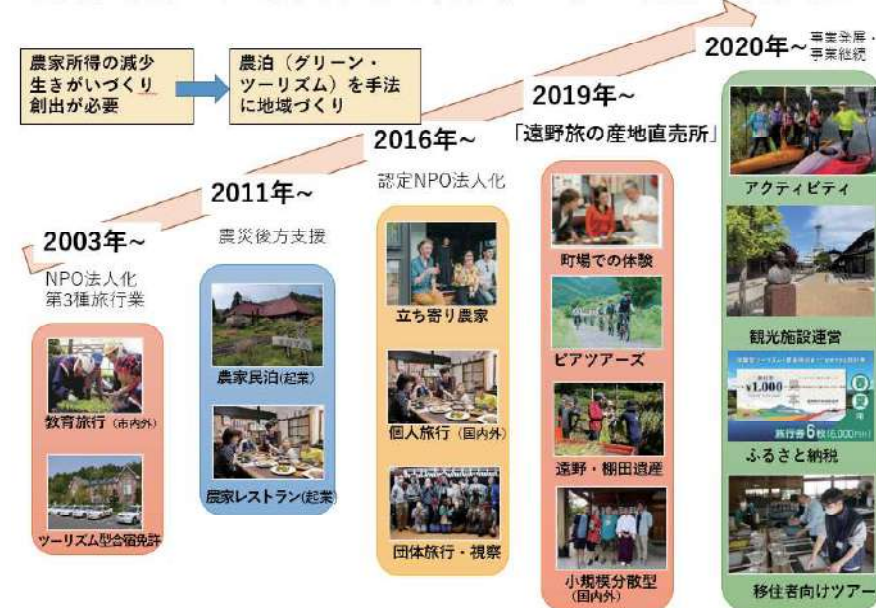
令和6年度は8件の受入れがありました。8件のうち宮城県と北海道の2校が新規受入れ、台湾からも2校受入れがありました。ご協力いただいた民泊家庭の皆様、ありがとうございました。山里ネットでは引き続き、受入れ家庭を募集しております。皆様の周りに興味のある方がいらっしゃいましたらお声がけよろしくお願いします。



【遠野山・里・暮らしネットワーク 20 年の歩み】

GTのメニューの変遷、受け入れ者数延べ9,000人程（2005年度（教育旅行開始）対比3.5倍強増）

遠野に住むことを誇りに思う人が多い町へ～生きがいと生業の両立～



【宮守棚田 fun ファンクラブ】会員増加！

農水省「つなぐ棚田遺産」に認定された宮守棚田の活用事業。米の価格沸騰の影響もあり、19名の会員を獲得。特に首都圏の会員が増加しました。田植え体験、稲刈り体験には20名を超える参加者があり、親子連れを中心に和気あいあいとした雰囲気での体験となりました。また、上宮守の観光地などをまとめた棚田マップを作成したので、活用していきます。



【持続可能な農泊モデル地域創出支援事業】モデル地域に選定！

全国18の農泊地域から遠野を含む5つの地域が選定されました。支援金を活用して、旅の産地直売所のHPのリニューアルや地域資源を利用した「ジビエツアー」の造成を行いました。ジビエツアーは博物館で遠野の狩猟を学んだあと、鹿肉解体に挑み、解体した肉をディナーで食べ、ナイトサファリで鹿を探するという盛りだくさんの内容。県外から6名が参加。鹿肉のおいしさが好評でした。



【旅産直 新規ツアー造成】ユニークなツアーが誕生！

米通の炭窯を活用した炭作り体験ツアー、民話伝承の地を巡るサイクリング、郷土芸能の神楽体験ツアー、地域の飲み屋に精通したガイドが案内する呑み旅など、遠野の地域や伝統、人の魅力を生かしたツアーを企画しました。呑み旅は、参加のお客様がツアー終了後も延長で飲んだり、追加でハシゴ酒を楽しんだり地域経済に貢献しています。



【移住支援】事業を通して3名が遠野へ移住！

毎年恒例となった花巻・遠野おためし移住ツアー、今回は合計13組20名が参加。うちご夫婦2名が遠野市へ移住することが決まりました。加えて、移住者が地域の人や先輩移住者と交流を図ることを目的とした移住者交流会を計4回実施しました。移住者交流会には移住前の方も2名参加し、1名が遠野市へ移住しました。着実に成果が出ているため、引き続き移住支援を行っていきます。



【新規民泊オープン】若手メンバーが参加！

新たに2軒の宿が民泊新法の認可を取得。附馬牛町の「籠家遠野」は、石垣島でネイチャーガイドの経歴を持つ20代のオーナーが、茅葺屋根の古民家をDIYした宿で、外国人のお客様も歓迎しています。上郷町の「かこちゃん家」は山里ネットのスタッフ・菊池佳菜江の実家を民泊として改装したもので、アットホームな雰囲気が魅力です。若手オーナーの活躍に期待が高まります。



2024年度を数字で振り返る

- 遠野民泊協会 … 98軒(-6)
- 山里経由農泊宿泊者数 … 延べ782人(+196) 内外国人93人(-50)
- 教育旅行 … 8校(-1)
- 日帰り農業体験者数 … 101人
- まちぶら・さとぶら体験者数 … 184人(-22)
- 遠野ドライビングスクール … 合宿生参加者:492人(+12) 内GT体験者数201人(-26)
- 大学インターンシップ … 5校(+4) ※()は前年度対比

【各種SNS等】



【大学生が続々】大学生の受け入れを積極的に推進！

大学生向けのインターンシップやスタディーツアーを強化しています。令和6年度は、法政大、国学院大、淑徳大、東洋大の学生が山里ネットを訪れました。東洋大では留学生を対象としたインターンシップを実施し、イタリア人とウズベキスタン人の2名がインバウンドの課題の洗い出しや「とおの物語の館」のPRを行いました。今年度も各大学からの学生を受け入れ予定です。



【世界とつながる遠野】イベント実施！

遠野市主催の「少年少女グローバル体験 in 遠野」の企画を担当。柏木平レイクリゾートを会場に約20名の小学生が参加し、英語を使ったゲームや料理・工作体験、外国人講師との国際交流を楽しみました。また4名のJICAグローバルプログラム研修生を受け入れました。研修生はイベントのサポートやツアー企画、イラスト作成など各自の得意分野で活躍しました。



主な助成事業等の実績

1. 遠野市 ツーリズム型交流推進事業 平成15年度から平成24年度 事業費 1,092千円～1,300千円
2. 農水省 農山漁村地域力発掘支援モデル事業 平成20年度～21年度 事業費 2,067千円～3,000千円
3. 経産省 農商工連携等促進人材創出事業 平成20年度～22年度 事業費 8,361千円～11,388千円
4. 経産省 CB、SB元気アップ事業 平成23年度 事業費 2,300千円
5. 農水省 食と地域の交流促進対策事業 平成23年度～24年度 (遠野ふるさと体験協議会事務局) 事業費 2,200千円～2,500千円
6. 内閣府 復興支援型雇用創出事業 平成24年度 事業費 14,000千円
7. 内閣府 復興支援型雇用創出事業 平成24年度 (ふるさと帰郷支援センターとの協働事業) 事業費 14,000千円
8. 総務省「域学連携」地域活力創出モデル実証事業 平成25年度 (法政大学と遠野市の協働事業) 事業費 14,000千円
9. 農水省 農山漁村振興交付金事業 平成28年度～29年度 (遠野・ふるさと体験協議会事務局) 事業費 4,000千円～5,984千円
10. 農水省 農山漁村振興交付金事業(農泊地域高度化促進事業) 令和元年度 (遠野・住田ふるさと体験協議会事務局) 事業費 1,747千円
11. 農林水産業みらい基金 農林水産業みらいプロジェクト 平成30年～3か年 事業費 9,950千円
12. 農水省 JAL農業留学2021 令和3年度 事業費 3,700千円
13. 岩手県被災者の参画による心の復興事業 令和2年度 2,545千円
14. 岩手県NPO等による復興支援事業費補助金 令和2年度 2,520千円
15. 岩手県 いわてグリーン・ツーリズムカレッジ開催委託業務 令和3年～令和5年度 事業費 2,079千円
16. 農水省 農村RMO事業 令和4年度～ (土淵町農村活性化協議会事務局) 事業費 2,000千円～11,000千円
17. 農水省 農泊推進推進事業 令和7年度～ (遠野ふるさと体験協議会) 事業費 1,450千円～1,800千円